

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-139	小学校	算数	算数	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 418 算数 419	小学算数4上 小学算数4下		

1 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

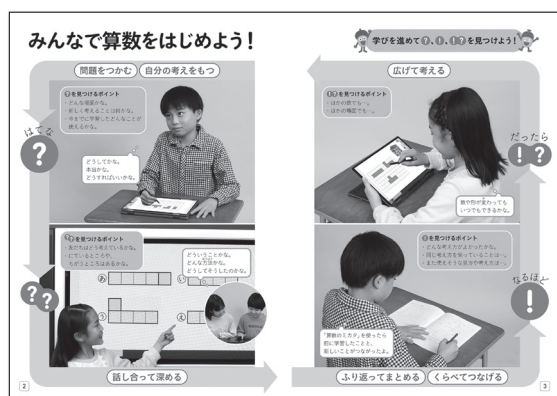


社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

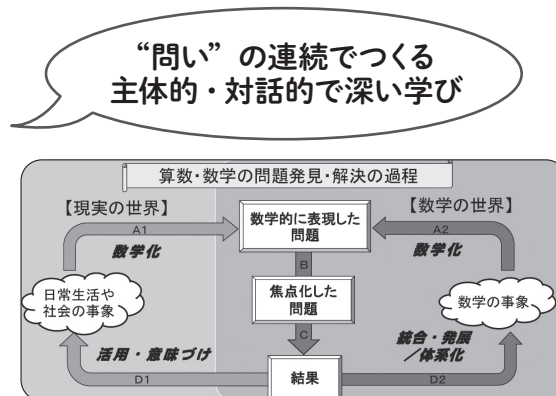
生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書では、教育基本法が示す教育の目標の実現に向けて、次の基本方針のもとに編修にあたりました。

問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる



▲「はてな? →なるほど! →だったら!」で進める学びの過程



▲算数・数学の問題発見・解決の過程 (文部科学省)

特色

1

学びに向かう力、人間性等の涵養

問題発見力・解決力・追究力を育てる教科書

特色

2

思考力・判断力・表現力の育成

見方・考え方を働かせて学び合う教科書

特色

3

生きて働く知識・技能の習得

学びをつないで確かな学力を育てる教科書

1 問いをもち、学び合うから、考えが深まる！

子どもの「**？**」からめあてをつくり、主体的・対話的な学びをとおして「問い**？**」を深め、**！**を見いだし、さらに、新たな「問い**！**」へとつなげる構成にしました。未来を創り出していくのは、「問いをもつ力」です。

14 下の図形の面積を、必要などころの長さをはかって求めましょう。

「**？**」のような形の面積は、どのように求めればいいのか。

「**！**」を見つけてよう

「**？**」

「**！**」

5 学習をふり返りましょう。

「**！**」

図形を分けたり、ないところをあるとみたりすれば、面積の公式を使って考えられるね。

「**！**」

ほかの図形でも、同じように考えてできるかな。

▲下p.17～19

「**？**」から「**！**」へ
「問い」の変容が見えるノート指導

「**？**」のような形の面積は、どのように求めればいいのか。

「**！**」

▲下p.20～21

友だちのノートを見てみよう

単元1～3は 学び方のモデル単元

学習指導要領との対照表 p.2

- 単元 1 問題発見力モデル
- 単元 2 問題解決力モデル
- 単元 3 問題追究力モデル

2 伝え合い、学び合う学級をつくる！

授業開きの特設教材を楽しく解決しながら、学習の進め方を学級で共有できるようにしました。

学びに向かう力は、わからないことを伝え合える学級文化から育ちます。

12 ペントミノ

同じ大きさの正方形を12個使って、形を作りましょう。

12種類のペントミノを全部見つけましょう。

12種類のペントミノを全部見つけましょう。

算数が好きになる
はじめの一步！

12種類のペントミノのうしろ、組み立てるとふたのない箱の形になるものがある種類があります。できるだけたくさん見つけてみましょう。

12種類のペントミノを全部見つけましょう。

▲上p.7～9

3 単元のまとまりで、学びを深める！

単元導入では身近な題材から算数の問題を発見し、単元末では活用問題をとおして「何ができるようになったか」を実感できるようにしました。

単元のまとまりで、目的意識をもって主体的に学びを進めていくことができます。

10 ポスターを
考えよう！

身近な場面から
問題発見！

つばきさんは、けがの防止をポスターでよびかけようと考えました。

27ページの表は、1週間のけがの発生状況をまとめた表です。この表を、けがの種類の表と、けがをした場所の表に整理しましょう。

▲下p.26

学んだことを
日常生活に活用！

データを集めて、表やグラフで伝えよう！

1 テーマを見つける

2 データを集める

3 データを集めて整理する

4 分ける

5 目的に合わせて表やグラフに書いたり、データの傾向をよみとったりする。

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
けがの種類	28	31	22	21	44	39	28	34	28	13	8	25	307
けがの場所	150	35	23	16	6	228	100	25	20	18	9	19	918
けがの場所	45	14	16	2	171	134	100	71	125				

▲下p.34

見方・考え方を働かせて学び合う教科書

1 見方・考え方がつながると、算数が得意になる！

単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で顕在化し、後半の学習で自ら活用していく構成にしました。見方・考え方の働きを実感し、学びが深まります。

ミカタに気づく

3 0.2×6 と 2×6 の積の大きさをくらべましょう。

$0.2 \times 6 = \square$
↓ 10倍
 $2 \times 6 = 12$

前に学習したこと
にているよ。

なるほど！
かけられる数が小数の計算も、
整数の計算をもとにして

れお
なるほど！
かけられる数が小数の計算も、
整数の計算をもとにして
答えが求められるね。

振り返る

つながる **ミカタ**

ゆき 0.2×6 や 1.2×7 の計算では、**0.1** をもとにしたり、10倍したりして考えたね。

小教×整数の計算では、**整数の計算をもとにして**考えて、あとで積の大きさをもとせばいいね。

れお

小教×整数の計算では、**整数の計算をもとにして**考えて、あとで積の大きさをもとせばいいね。

はる

小教×整数の計算では、**整数の計算をもとにして**考えて、あとで積の大きさをもとせばいいね。

はる

また使う

2 $3.6 \div 3$ と $36 \div 3$ の商の大きさをくらべましょう。

$3.6 \div 3 = \square$
↓ 10倍
 $36 \div 3 = 12$

前に学習したこと
にているよ。

なるほど！
わられる数が小数の計算も、
整数の計算をもとにして
答えが求められるね。

みなと
なるほど！
わられる数が小数の計算も、
整数の計算をもとにして
答えが求められるね。

学習指導要領との対照表 p.2
“見方・考え方のつながり”

2 単元を中心となる見方・考え方を心に残す！

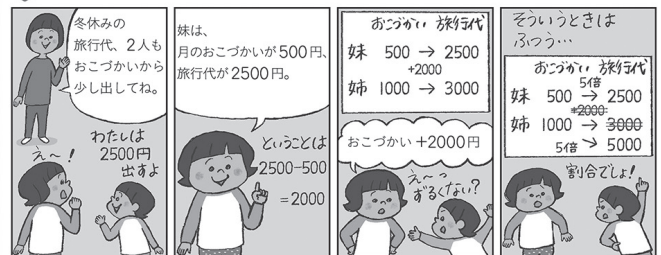
単元末の「4コマ漫画」で、学んだことのよさや見方・考え方を、楽しく振り返れるようにしました。領域を貫く見方・考え方が心に残るから、学年を超えて、次の問題解決に生かせるようになります。

 学習を生かして、身のまわりの形を見直してみよう。



▲上p.132

 ^{りょう} ^{かんけい} 2つの量の関係どうしをくらべるとき、どんな見方をしたかな。



▲下p.46

3 算数のよさを実感しながら、読解力・表現力を育てる！

単元末では、算数を見つめたり、算数を使って日常の問題を解決したりする活動「**学んだことを使おう**」を設けました。学年末では、全国学力・学習状況調査をふまえ、学習したことを総合的に活用する問題「**算数を使って考えよう**」を設けました。算数の学習と日常の場面をつなげて、「わかる・できる」から「使える」学力に高めます。

単元末の活用問題

**みんなのまちを
調べよう**



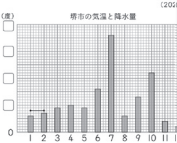
地図と降水量をくらべて、
どんなことがわかるかな。

グラフを組み合わせて調べよう！

① ゆきさんは、大塚南町の月別の気温を調べ、
月別の降水量を表す7グラフに重ねて、月別の
折れ線グラフに表しました。

都市の気温											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
気温(度)	8	8	11	14	20	25	26	30	25	18	15

(度) 都市の気温と降水量 (mm)



② 降水量がほとんど少ない月の気温は、何度でしょう。

③ 2つのグラフからよく知れることを話し合おう！

雨が少なくて暑い時では、
どうなるかな？

おたけ

雨が少なくても気温が
高いのはおかしい。

おたけ

この図で何を調べよう？

②のグラフの右側を
書き加えることに
しよう。



何ができるかな？

みなさんは、上のような本だんをできるだけたくさん
作りたいと思います。

この本だんを1つ作るには、次の材料を使います。


長方形の紙 3まい


正方形の紙 4まい


くぎ 24本

みなさんは、長方形の紙を52まい、正方形の紙を58まい、
くぎを315本使っています。

本だんを何個作ることができるでしょうか。

④ 長方形の紙だけでなく、本だん何分のも数がある
でしょう。

また、正方形の紙とくぎについても、同じように
考えてみましょう。

どんな計算も
しなさい。

おたけ

⑤ みなさんが持っている材料で、本だんを作るとある
ことができます。理由も説明しましょう。

色々な本だんを
組んで考えよう。

おたけ

▲上p.55

▲上p.55

学年末の活用問題

○算数を使って考えよう

③R(スリーアー)

- ① れおさんは、社会科で
3R(スリーアー)という
言葉を学習して、もっと
調べてみたくなりました。

② は、3Rについて
どんなことを勉強したのかを。
調べる

これは、3Rに関する活動のしるしです。
環境にやさしい消費行動の推進、
資源の節約、リサイクルの促進

れおさんは、6年生のみんなにアンケートをとりました。

- ④ 6年生全員に聞きました。
- ① サイクルしている人ですか？
- ② マインダグを使っていますか？

	サイクリング
使っている	使っていない
サイクリング	7 17
していない	8 9

- ⑤ サイクルしている人を男女別に聞きました。
- 何人サイクリンしていますか？ (両 sexes)

男の子	女の子	合計	その分
28	20	15	7

図表からわかること

アンケートで、1つの質問に対して2つの答えが返ってくる場合もよくあります。この場合は、横に2つの表を作ります。

④教室の様子

- ② ゆきさんは、教室の面積を
求めるようにしています。

つぎのような図を見て、
長さを求めようとしています。

そこで、教室の形のものに使えるような数を書き出してみました。

- ⑥ 教室の形のもの……………長方形
- ⑦ ゆかりのタイルの形……………正方形
- ⑧ 教室のたてにならざるタイルの最大数……………30まい
- ⑨ 教室の幅にならざるタイルの最小枚数……………20まい
- ⑩ ゆかりのタイルの1辺の長さ……………30cm

教室の形は長方形だから、
教室のたてと幅の長さより
ゆかりのタイルの大きさがわかるといいな。

- ⑪ ゆきさんは、はじめに、教室のたての長さを求めました。

教室のたて $30 \times 30 = 900$ $900\text{cm} = 9\text{m}$

- ⑫ 同じようにして、教室の幅の長さを求めました。
また、教室の面積はゆかりのタイルの何枚分かかります。

教室の面積は、ゆかりのタイルの何枚分かかります。

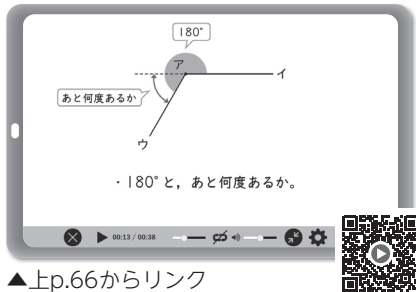
▲Tp.132、134

134

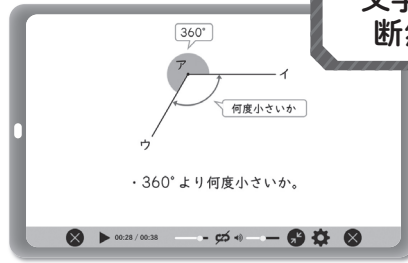
▲下p.132、134

1 毎時のまとめが動くから、イメージでわかる！

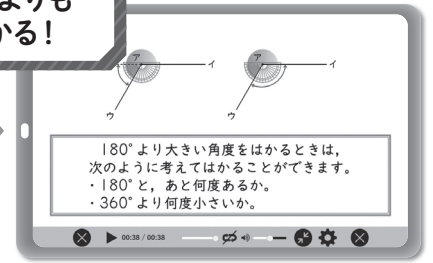
「まとめアニメーション」で、知識・技能のまとめを視覚的に表現しました。デジタルで、毎日の授業のまとめ方が変わります。



▲上p.66からリンク



文字だけよりも
断然わかる！

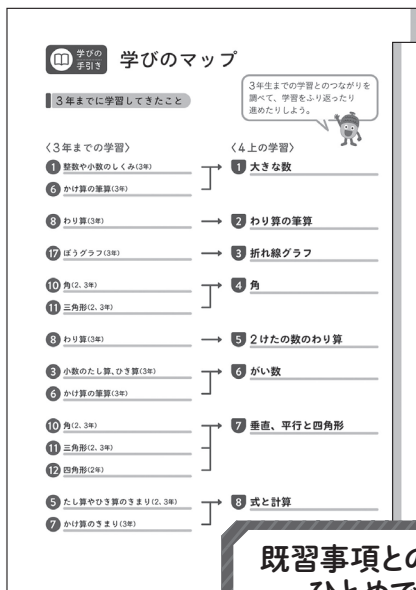


学習指導要領との対照表 p.1

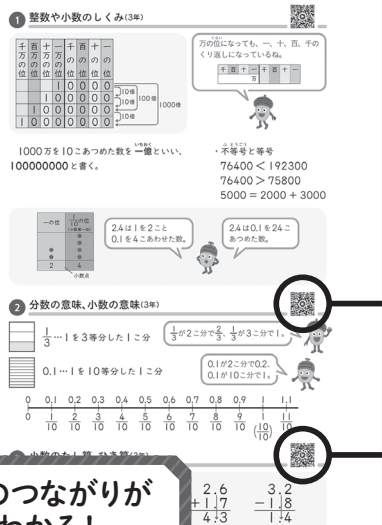
デジタルコンテンツ「まなびリンク」

2 学年を超えた学び直しが、確かな学力を育てる！

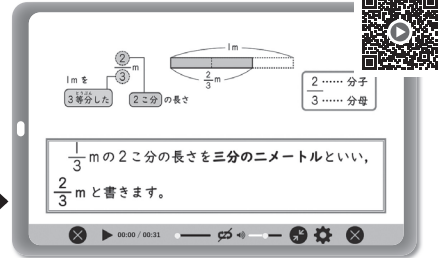
巻末「学びのマップ」で、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしました。わからない箇所があるときや、関連する内容を振り返りたいときにいつでも参照できるから、基礎・基本が定着します。



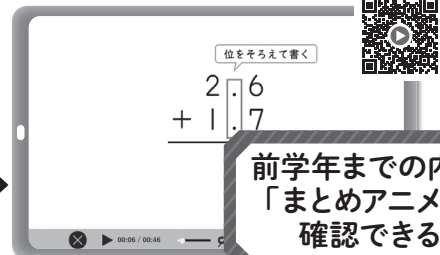
▲上p.169～170



既習事項とのつながりが
ひとめでわかる！



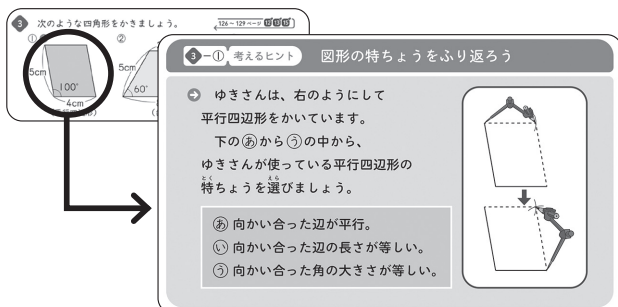
▲3年 分数の意味



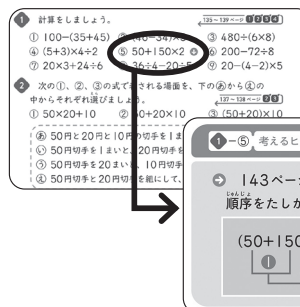
▲3年 小数のたし算、ひき算

3 つまづきのポイントを丁寧に支援するから、学力が伸びる！

各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載しました。単元ごとに、典型的なまちがいが起こりやすい問題をクローズアップするので、より丁寧な支援ができます。



▲上p.133



▲上p.144

支援のポイントが
わかりやすい！

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 大きな数	問題を発見し、生活経験や既習の学習をもとに解決しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上 p.11 ~ 13
2 わり算の筆算	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	上 p.28 ~ 31
3 折れ線グラフ	学習した見方・考え方をもとに新たな問題を発見し、追究しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上 p.52 ~ 53
4 角	身のまわりの角度を主体的に調べる活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	上 p.70
5 2けたの数のわり算	わり算について見いだしたきまりがいつでも成り立つかを追究する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上 p.85 ~ 86
6 がい数	使用済みの切手の枚数を調べる題材を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	上 p.104 ~ 105
7 垂直、平行と四角形	さまざまなコラムで、学習内容を広げたり深めたりする話題を豊富に紹介し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上 p.114 ~ 119
8 式と計算	買い物場面の題材を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	上 p.134
9 面積	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下 p.17 ~ 21
10 整理のしかた	図書室をもっと利用してもらうために図書新聞を作る題材を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	下 p.34 ~ 35
11 くらべ方	これまでに学習してきた「倍」に関する場面を数直線に表して統合的に見直す活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.42
12 小数のしくみとたし算、ひき算	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.56
13 変わり方	問題解決に用いた見方を、ほかの場面でも使っていくことを示すことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.70
14 そろばん	そろばんを用いて数を表したり計算したりする活動を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	下 p.72 ~ 74
15 小数と整数のかけ算、わり算	身のまわりの場面からかけ算やわり算の問題をつくる活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	下 p.95
16 立体	友だちと一緒に学びながら学習課題を見いだす活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下 p.100 ~ 101
17 分数の大きさとたし算、ひき算	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.124
★ 算数を使って考えよう	3Rの活動に関心をもって調べる場面を題材とすることで、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	下 p.132 ~ 133
巻頭・巻末	ミウラ折り、宇宙太陽光発電といった日本の技術・研究を紹介する話題を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	上・表3 下・表3

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ESD・SDGsへの取り組み

- ・現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

○人権教育・特別支援教育

- ・人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダーやLGBTQなどについても理解が深められるよう配慮しました。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-139	小学校	算数	算数	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 418 算数 419	小学算数 4 上 小学算数 4 下		

1 編修上特に意を用いた点や特色

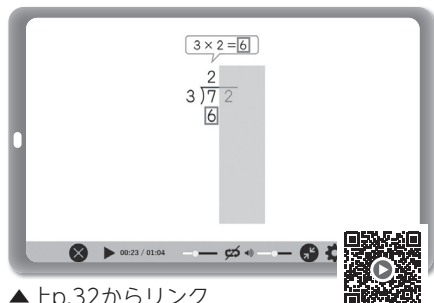
1 デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、
“もっとわかる・できる・納得する”

全591か所
(4年生用
157か所)

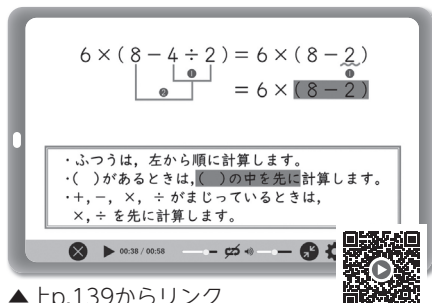


まとめアニメーション

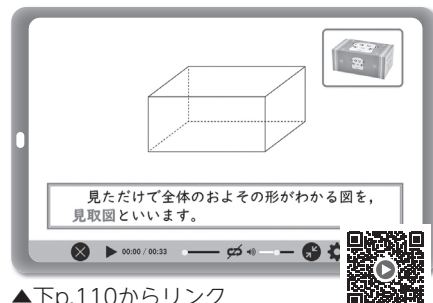
毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。



▲上p.32からリンク



▲上p.139からリンク



▲下p.110からリンク

作図や測定手順の動画・シミュレーション

自分のペースで繰り返し学べる作図・測定手順の動画や、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションも豊富に用意しました。



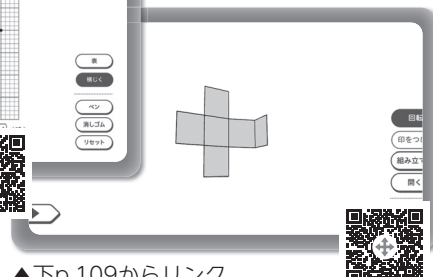
▲上p.168からリンク



左利き用も!



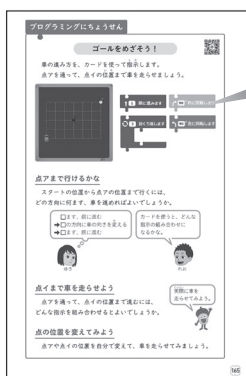
▲上p.47からリンク



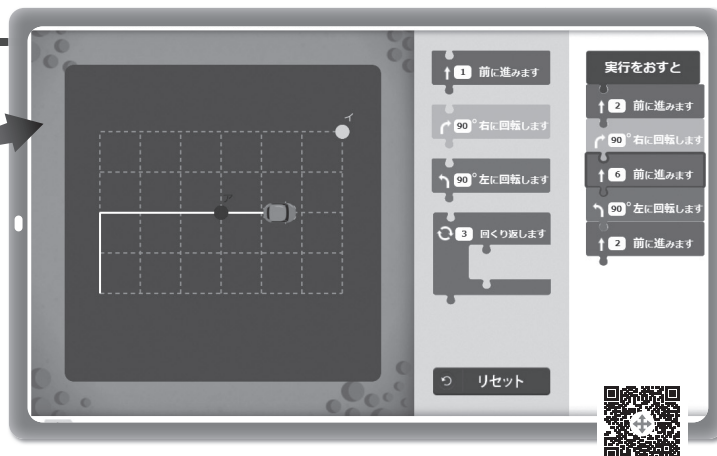
▲下p.109からリンク

プログラミング教材

操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、プログラミング的思考に焦点化した授業を楽しく行えるようにしました。



▲下p.165からリンク



“見方・考え方のつながり”が見えるから、算数が得意になる

つながるミカタ

各単元の見方・考え方を顕在化し、次の問題解決にもう一度活用することで、**学びの深まりを実感**できるようにしました。

つながる **ミカタ**

わり算では、わる数を何十とみて商の見当をつけたあと、商が大きすぎたら小さく、小さすぎたら大きくすればいいね。

だったら **1**？ われる数が3けたでもできるかな。

はる

7 $172 \div 21$ の計算のしかたを考えよう。

商は何の位かたづてようか。

みき $21 \overline{)172}$ → $21 \overline{)172}$

商の見当をつけて、筆算をしましょう。

みき $21 \overline{)172}$

8 $268 \div 35$ の計算のしかたを考えよう。

商の見当をしましょう。

みき $35 \overline{)268}$

つながる **ミカタ**

底分母や等分数も、 $\frac{1}{3}$ や $\frac{1}{4}$ などの**単位分数**をもとにして大きさを表せるね。

れお

大ききの等しい分数も見つけられたよ。

つばさ

1？ 分数のたし算やひき算についても、もっと考えてみたいな。

ゆき

3 分数のたし算とひき算

こう算が $\frac{4}{5}$ と申にゆう $\frac{3}{5}$ しをまぜてミルクティーを作りました。ミルクティーは何リでしょう。

式

？ どのように答えを求めればいいのか。

みき $\frac{4}{5} + \frac{3}{5}$

れお $\frac{4}{5} + \frac{3}{5} = \frac{7}{5}$

あわるとん $\frac{7}{5} = 1\frac{2}{5}$

口にあはる数を、

つながる **ミカタ**

の形の面積は、次のような見方をすると、面積の公式を使って考えることができました。

みき 99×8 の計算

ゆき 100 より1少ない数

算数で使いたい見方・考え方

3年生までに使ってきた 算数のミカタ

新しい計算のしかたを考えたときの見方

みき 23×3

ゆき $20 \times 3 = 60$, $3 \times 3 = 9$, $60 + 9 = 69$

単元のまとめで、
「ミカタに気づく⇒振り返る⇒また使う」

▲上p.81

▲下p.124

▲上p.4

3

自ら未来を創り出していくための
“問題発見力・解決力・追究力”を育てる

「学び方」を学ぶ3つのモデル单元

学年始めの単元１～３では、問題発見力・問題解決力・問題追究力の３つの力に焦点をあてて、算数の学び方を身につけられるようにしました。

[illegible]

検討の観点と内容の特色



観 点	内容の特色	該当箇所
教育基本法、学習指導要領の遵守	▶ 教育基本法が掲げる教育の目的及び目標をふまえ、「問いつづけ、よりよいものを求めて改善しつづける子ども」の育成を目指して編修しました。 ▶ 学習指導要領に則り、その目標がよりよく実現されるように創意・工夫をしました。	全般 全般
主体的・対話的で深い学びの実現	▶ 子どもの問いの連続【はてな？→なるほど！→だったら!?】によって数学的活動を進められるようにしました。 ▶ 単元導入の【きっかけ】では、学ぶ意義を感じ、目的意識をもって取り組める教材や活動を工夫しました。 ▶ 【学びを深める問い??】で学び合いを焦点化し、対話的な学びをとおして見方・考え方を深めていけるようにしました。	下p.17～19等 下p.4等 下p.6等
基礎的・基本的な知識・技能の習得	▶ 毎時の知識・技能まとめに【まとめアニメーション】を設け、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。また、巻末の【学びのマップ】では、下学年の内容も【まとめアニメーション】で振り返ることができるようにしました。 ▶ 各種学力調査で課題がみられる内容には【考えるヒント】を設け、つまづきやすいポイントを意識化しました。	上p.66等 上p.170等 上p.144等
思考力・判断力・表現力の育成	▶ 単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を【つながるミカタ】で顕在化し、後半の学習で自ら活用していけるようにしました。さらに、【つながるミカタプラス】では、見方・考え方を領域を超えてつなぎ、算数のコツをつかめるようにしました。 ▶ 単元末【学んだことを使おう】及び学年末【算数を使って考えよう】では、学習したことを活用し、日常の事象を数理的にとらえて問題発見・解決する数学的活動を扱い、「何ができるようになったか」を実感できるようにしました。	下p.83等 下p.22等 上p.89等 下p.132～135
学びに向かう力、人間性等の涵養	▶ 問題発見力・問題解決力・問題追究力の3つの力に焦点をあてたモデル単元をそれぞれ設定し、よりよい未来を切り拓くための資質・能力の育成を目指しました。 ▶ 新学年の始めに、【授業開き教材】を用意し、問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるようにしました。	上p.11～13 上p.28～29 上p.52～53 上p.7～9
ICTの活用	▶ 無償で使えるデジタルコンテンツ【まなびリンク】では、まとめアニメーションや作図手順の動画、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションを豊富に設けました。 ▶ 操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、「プログラミング的思考」に焦点化した授業が行えるようにしました。	 下p.165
体験的活動の重視	▶ 計算のしかたを考え説明したり、図形の性質を見いだしたりする場面などでは、具体的な体験によって学ぶ活動（ハンズオン）を重視しました。	下p.25等
言語活動の充実	▶ 【算数で使いたい見方・考え方】では、子どもの言葉で数学的な見方・考え方を表現し、それらの言葉を使って学び合えるようにしました。	上p.4～5等
学年間の系統性への配慮	▶ 単元導入などでは、既習事項との関連を図りながら学習内容を広げていけるようにしました。 ▶ 巻末【学びのマップ】には既習事項の一覧を掲載し、関連する内容を適宜確認できるようにしました。	下p.116～117等 下p.169～175等

観 点	内容の特色	該当箇所
他教科等との関連	▶ 理科の気温調べと関連させた題材を取り上げるなど、教科横断的に取り組める教材を設けました。 ▶ 道徳科との関連を図り、巻末に【自分で取り組むページ】を設け、自律的な学習態度や学習習慣が形成されるようにしました。また、友だちのノートのよいところを見つける活動を設け、お互いのよさを認め合う心を育てるようにしました。	上p.42等 上p.145等 上p.30～31等
現代的な諸課題への対応	▶ 3Rに関心を持ち、リサイクルなどについて調べる場面を題材として取り上げるなど、環境保全への関心が高められるようにしました。 ▶ 宇宙太陽光発電などの最先端の科学技術を紹介し、算数の有用性を感じられるようにするとともに、将来の職業を考えるきっかけとなるようにしました。	下p.132等 下 表3等
個に応じた学習、 少人数指導	▶ 巻末の練習問題【ステップアップ算数】は、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」に分けて、習熟度に応じて練習問題の量を調整できるようにしました。 ▶ 【コラム】及び【算数ひろば・もっとやってみよう・よくあるまちがい】では、学習の進度に応じて扱える問題や話題を用意しました。	上p.146～156等 上p.66、91、63等
特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	▶ 専門家の監修のもと、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。 ▶ ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障がい）に配慮した「UD デジタル教科書体」を採用しました。 ▶ 読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮しました。また、デジタル教科書や拡大教科書を用意し、多様なニーズに対応できるようにします。	全般 全般 全般
表記・表現	▶ 文章は平易で簡潔、かつ理解しやすいように配慮しました。 ▶ 教材選定や場面の表現では、言葉遣いや服の色など、固定的なイメージで性の区別をしないようにするなど、多様性や人権について十分に配慮しました。	全般 全般
配列・分量	▶ 系統性や習熟期間などを考慮し、最適な学習効果が得られる単元配列を工夫しました。 ▶ 基礎・基本の内容と、選択的な内容を分け、標準時数の中で無理なく習得することができるようにするとともに、単元の学習や家庭学習において、定着のために十分な分量の問題を用意しました。	全般 全般
印刷・造本	▶ 紙の強度を維持しつつ、軽量の紙を使用することで児童の身体的な負担に配慮しました。 ▶ 環境やアレルギーなどに配慮し、再生紙と植物油インキを使用しました。また、表紙には抗菌加工をしました。	全般 全般
創意・工夫	▶ 「学びやすさ」の観点から、算数の学び方を身につけられるように工夫しました。また、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の両面で、デジタルコンテンツを有効に活用して理解を深められるようにしました。 ▶ 「授業のしやすさ」の観点から、問題解決型の授業の流れに沿った学習展開で構成するとともに、指導内容や見方・考え方の系統性がわかりやすくなるように工夫しました。また、主体的な学びのきっかけをつくる導入活動や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などがわかりやすくなるように工夫しました。 ▶ 「学力向上」の観点から、習熟の機会を豊富に設けるとともに、各種学力調査等で課題がみられる基礎・基本の問題を意図的に取り上げ、丁寧な支援ができるように工夫しました。また、全国学力・学習状況調査をふまえ、読解力・表現力等を育成する問題を扱いました。 ▶ 「算数好きを増やす」観点から、自ら考えたり、友だちと学んだりする楽しさを味わえるように工夫しました。また、子どもたちの興味・関心を高める教材を豊富に用意しました。	全般 全般 全般 全般

2 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上	★ ペントミノ	指3 (2) (3) (4) (5)	p.7~9	2
	1 大きな数	A(1) ア(ア) イ(ア) 内(1) (3)	p.11~24	9
	2 わり算の筆算	A(3) ア(ア) イ(ア) ウ(ア) イ(ア) 内(2)	p.26~41	9
	3 折れ線グラフ	D(1) ア(イ) イ(ア) 内(10)	p.42~57	9
	■ 油分け	指2 (3)	p.58	1
	4 角	B(5) ア(ア) イ(ア) イ(ア)	p.59~72	8
	5 2けたの数のわり算	A(3) ア(ア) イ(ア) ウ(ア) エ(ア) イ(ア) 内(4)	p.74~91	14
	6 がい数	A(2) ア(ア) イ(ア) ウ(ア) イ(ア)	p.92~107	9
	■ こわれた電たく	A(7) イ(ア)	p.108	1
	7 垂直、平行と四角形	B(1) ア(ア) イ(ア) イ(ア) 内(7)	p.110~133	14
下	8 式と計算	A(6) ア(ア) イ(ア) ウ(ア) イ(ア) A(7) ア(ア) イ(ア) 内(6)	p.134~144	7
	9 面積	A(6) ア(イ) B(4) ア(ア) イ(ア) イ(ア) 内(8)	p.4~24	12
	■ つないだ輪を切って	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.25	1
	10 整理のしかた	D(1) ア(ア) イ(ア) 内(9)	p.26~37	6
	11 くらべ方	A(3) ア(イ) C(2) ア(ア) イ(ア)	p.38~46	5
	12 小数のしくみとたし算、ひき算	A(4) ア(イ) ウ(ア) イ(ア)	p.48~63	13
	13 変わり方	A(6) ア(イ) ウ(ア) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア)	p.64~71	5
	14 そろばん	A(8) ア(ア) イ(ア)	p.72~74	2
	■ 方眼で九九を考えよう	A(7) イ(ア)	p.75	1
	15 小数と整数のかけ算、わり算	A(4) ア(ア) エ(ア) イ(ア) 内(5)	p.77~97	15
	16 立体	B(2) ア(ア) イ(ア) ウ(ア) イ(ア) B(3) ア(ア) イ(ア)	p.100~115	9
	17 分数の大きさとたし算、ひき算	A(5) ア(ア) イ(ア) イ(ア)	p.116~127、 129~130	9
	■ 部屋分けパズル	B(4) イ(ア)	p.131	1
	★ 算数を使って考えよう	D(1) ア(ア) イ(ア) イ(ア) 指2 (1) B(4) ア(ア) イ(ア) イ(ア) 指2 (1)	p.132~133 p.134~135	2
	◎ 4年のまとめ	指1 (2)	p.136~140	2

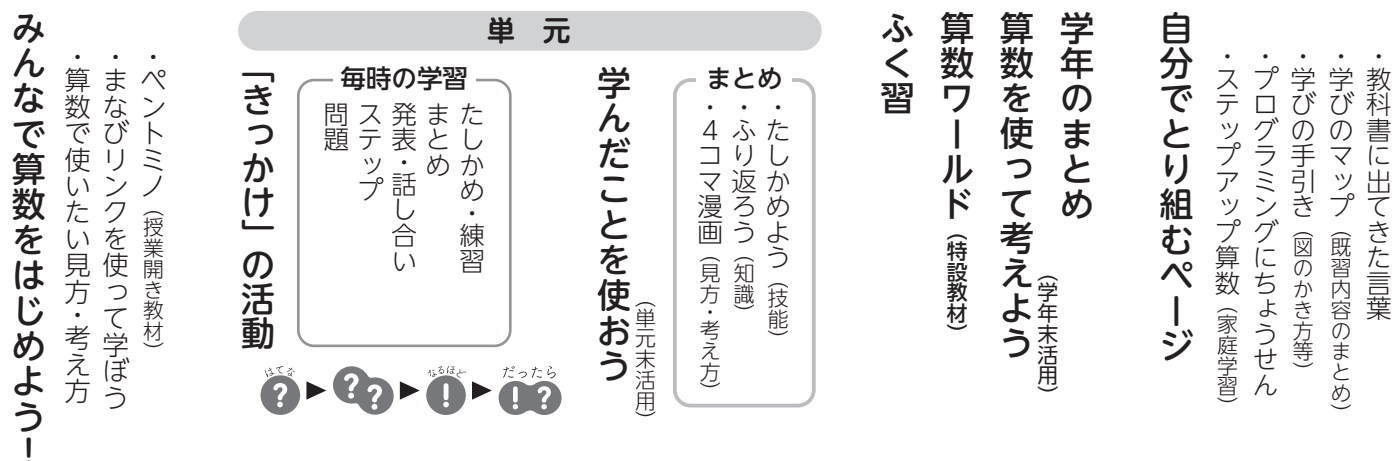
※内：内容の取扱い

(予備時数 9時間)

計 166

※指：第3 指導計画の作成と内容の取扱い

教科書の構成



編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-139	小学校	算数	算数	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 418 算数 419	小学算数 4 上 小学算数 4 下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上 22	千兆の位より大きい位	2	A(1) ア(ア) 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。 上記に関連して、千兆の位より上の位の名前について知る。	0.25
上 69	算数ひろば	1	B(5) ア(イ) 角の大きさの単位(度(°))について知り、角の大きさを測定すること。 上記に関連して、360度よりも大きい角度を表す場合があることを知り、角の大きさについての理解を深める。	0.25
上 161	古代エジプトの数の表し方を知ろう!	2	A(1) ア(ア) 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。 上記に関連して、古代エジプトの数の表し方を知る。	1
下 94	割合が小数になるとき	1	C(2) ア(ア) 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること。 上記に関連して、割合を表す数が小数になる場合があることを知り、割合についての理解を深める。	0.75
下 128	学んだことを使おう	1	A(5) ア(ア) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。 上記に関連して、30分を $\frac{1}{2}$ 時間や $\frac{6}{12}$ 時間、 $\frac{30}{60}$ 時間のように表すことを通して、大きさの等しい分数についての理解を深める。	1
下 164	分数や小数はいつ生まれたの?	2	A(4) ア(イ) 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めること。 A(5) ア(ア) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。 上記に関連して、古代エジプトの分数の表し方や、約400年前の小数の表し方を知る。	1
合 計				4.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 …学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2 …学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容